

講習会名 にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会 主催
新潟大学大学院医歯学総合研究科 共催
嚥下内視鏡講習会

日 時 平成 26 年 1 月 26 日（日） 午前 10 時から午後 5 時

場 所 新潟大学歯学部

タイムスケジュール

10:00-11:20 講 義
11:20-11:50 PENTAX による機器説明
13:00-15:45 相互実習
15:45-16:45 ケーススタディ
16:50-17:00 総 括

概 要

本講習会は、開業医への摂食・嚥下リハビリテーション普及を目指す中で、嚥下内視鏡検査を広く知ってもらうことと実際の活用例などを紹介する目的で開催された。当初は、新潟県歯科医師会からの推薦 5 名限定を対象とする予定であったが、問い合わせが多数あり、最終的には計 12 名（見学 4 名）の参加者となった。

午前中の講義では、新潟大学井上先生から、先日の中医協が報告した胃瘻問題やこれに関わる摂食嚥下機能評価の位置づけについての解説、新潟大学医歯学総合病院での摂食・嚥下リハビリテーションの取り組みの紹介や開業参入の必要性などについて説明があった。

次いで、PENTAX から内視鏡機器（ファイバースコープ・電子スコープ）およびその消毒方法の説明後に、昼食をはさんで午後の実習となった。2-3 名を 1 班として、計 5 班に分かれて、インストラクターの指示のもとでスクリーニング検査および嚥下内視鏡の操作法についてのレクチャーと相互実習が行われた。基本的な操作方法の確認はもとより、食形態・姿勢・飲み方を変えるなど、実際の検査・訓練場面を想定した実習となった。

続いて、大学病院において嚥下内視鏡検査を取り入れたケーススタディ 1 例について、谷口先生からの説明があった。食道癌術後に非定型の反回神経麻痺を生じたものであり、評価や訓練効果を調べるための嚥下内視鏡検査の有用性が強調された。

最後に、摂食・嚥下リハビリテーションに関わる今後の参加者の取り組みに対する新潟大学からの支援体制についての説明があり、好評のうちに終了した。

※別紙にアンケート結果を掲載

アンケート結果

1. 今回の講習会はいかがでしたか？

大変満足 57% (8名) 満足 43% (6名) 普通 0% 不満 0% 大変不満 0%

2. 実習の内容はいかがでしたか？

大変満足 64% (9名) 満足 36% (5名) 普通 0% 不満 0% 大変不満 0%

3. 本実習のよかった点

実際に内視鏡の相互実習ができてよかった (7名)

講義や実習がわかりやすかった (5名)

評価表で評価が出来てよかった (2名)

将来の目標、課題が明確になった (2名)

嚥下について再度認識を深めさせていただきました。VF、VEのみでの診察では…と再度考えることを宿題としてもらったと思います。

将来の目標が明確になった。

初めて内視鏡の画像を生で見る事が出来て勉強になりました。

実際の症例をみて評価表を作成した点。内視鏡に触れ、実際に嚥下状況を確認できた点。

相互実習ができたのでためになった。

無駄な時間がなくテキパキしてよかった。実習はわかりやすく説明していただいた。

相互実習で術者と患者を経験できたこと。

少人数での実習形式でわかりやすくてよかった。

更なる口腔機能が理解できた。

今まで机上の学問のみを受けてきたので、実際にすると理解度が違う。

内視鏡の指導がよかった。

実際に内視鏡を使わせてもらった。

相互実習できてよかった。マネキンとは違う緊張感があった。

実際の内視鏡のケースをみながら評価表を記入していくことが勉強になりよかった。また、自分の今後の課題(解剖の勉強)ができました。

4. 改善すべき点

もっと時間をかけてほしかった/もう何例か見たかった (3名)

実際の訓練をみたかった (1名)

評価表の評価基準があるとよい (1名)

自分の嚥下をUSBに入れてほしかった (1名)

養成講座の学会発表に、障害者歯科学会をいれてほしい (1名)

ケーススタディーはもっと時間をかけ、ゆっくり解説しながらしてもらいたかった。最後

に質問もあったが、私はこの分野については無知です。各単語についても理解していないまま説明されても、どこがどうだからこうなんだというのが理解しがたいです。今後またよろしく願いいたします。

ケーススタディーの症例をもう何例か見たかった。

実際にどのような訓練を行っているのかも見せてほしかった。

評価表の評価基準があるとよいと思う。患者評価の際、評価項目を同じ目線（基準）で評価できるとよいのではないのでしょうか。

USBに自分の口腔内の動きをいれてもらい、自分の嚥下を見たかった。

1日では厳しいのでは？（1日半か2日間）。

養成講座のケース確保数が多く設定されているが、期限が設定されているのでなかなか難しいのでは…学会発表するにあたり、障害者歯科学会をいれていただけないだろうか。

5. その他

今後も継続したい／また参加したい（5名）

有意義だった／ありがとうございました（5名）

実習をもっとしたかった（1名）

今後の地域リハに活かしたい（1名）

部位の理解を深める必要があると思った（1名）

今後も継続でお願いします。

今後もこのような機会を多く作っていただき、患者様の役に立てるように勉強できるといいと思います。日曜に貴重な講習をしていただきありがとうございました。

実習はもっとしたかったです。時間を割いてほしいです。

今後地域の嚥下リハに活かしたい。

スタッフに感謝しています。今後の研修予定は？

ありがとうございました。

このような講習会があればまた参加したい。

すばらしい講義、実習指導ありがとうございました。今後も嚥下リハの具体的な導入及び診断の指導をお願いします。

大変有意義なコースでした。大きな橋が架かることを期待しています。

改めて内視鏡で見るところの部位の理解を深める必要があると思った。

実習風景

